

「セツト共済」

うつ病にやめる通院で  
給付されました

職員の健康状態は深刻です。うつ病などを発症し、カウンセリングや通院をしながら仕事を続けている仲間も少なくありません。

私自身も異動を期に「うつ状態」となり、現在は職場の仲間を支えられ、通院をしながら何とか仕事を続けることができています。

「セツト共済」には、ずっと加入していましたが、今まで給付を受けるような病気もありませんでした。病気の通院だけでも給付があると聞き、病院で相談したところ、安静加療が必要な病気だから診断書をもってもらうように主治医から言われました。

初めて「セツト共済」の給付申請をし、通院給付として6万円近く給付があり喜んでいました。いつも支えてくれていた妻に感謝の気持ちで何かプレゼントをしたいと思っ

仲間の情報 & ひろば



鶴見商業高校・軽音楽部のはじける演奏

女子高生バンドの演奏で開幕  
2012年国際女性デー大阪集会

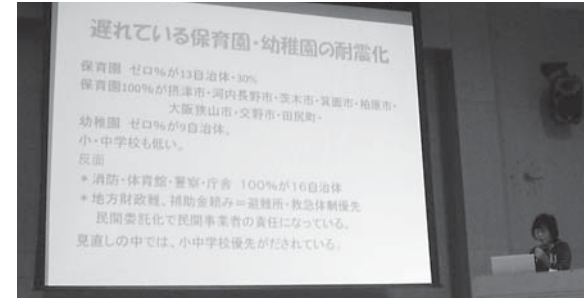


福島被災者とともに行動する雨宮裕子さん

3月8日といえば国際女性デー。この日は全世界の女性が連帯して行動する日です。ドーンセンターのホールは560人の参加者で一杯。元気な女子高生バンドの演奏で開幕した今年の

大阪集会。

講演は、フランスと日本を行き来し、都市と農村を結びつける活動をされているアルベール雨宮裕子さんを招いてお話を聞きました。フランスの人たちは、チエルノブイリでの放射能被害を経験してからは、政府やマスコミは信用せず、自分の目で見て聞いて判断し、行動するようになったというお話しでした。おとなしすぎる日本人ではなく「NON(ノン)」といえる日本人になりましょう！



府下43市町村アンケートの中間集約発表

第40回公害環境デーが2月26日(日)エル大阪で160人の市民や団体の参加で行われました。大阪自治労連が公害をなくす会・大阪自治体問題研究所と共同で行っている「防災まちづくり研究会」が実施した府下43市町村の防災担当課に対するアンケート結果の中間発表があり、問題点やこれからの研究課題が出されました。また、防災をテーマに越山健治氏、塩崎賢明氏による講演があり、防災のまちづくりをする上で自治体として見落としてはならない点(情報発信と復旧・復興)が指摘され、これから研究会を進める上で大いに参考となる内容でした。

防災のまちづくり「第40回公害環境デー」がテーマになった

仲間の声

■再任用も4月で2年目にはいり、磨きがかかりまして益々元氣、働くぞ。やー！  
藤原 尚樹(寝屋川市職労)

■子ども手当の制度が次々変わり、子ども3人を育てている者としていろいろ気がかりなことばかりです。子をもつ家庭には、一律平等に手当を支給してほしいです。  
井高 かなめ(堺市職労)

■春になれば、子どもが4歳になって、たくさん歩けるようになるので、ちよつと遠く公園まで出かけていきたいと思っ

■「個人賠償責任共済」が年間10000円の掛金で賠償額が5000万円から最高1億に増額になり、本当に心強く思っ

■新規採用から7年間過ぎた職場に再び配属されました。当時は、20歳代で仕事に遊びに全力投球してました。もうすぐ5歳になろうかという今、当時を思い出して「あの頃の自分に負けないように」と老体にムチ打って頑張っています。  
乗鞍 弘仁(八尾市職労)

■ボケ防止のため、1年ほど前から挑戦してはじめてたクロスワード。11月号で図書券をゲット。どうもありがとうございます。  
本紙は読みやすい紙面構成のため、毎号楽しみにしています。  
岡山 光男(大阪市労組)

■毎回「いまも心に響く名語録」を楽しみに読ませていただいています。気になった言葉があれば、手帳に書き綴ってはわが身を振り返りその言葉を心に刻むようにしています。  
小西 由美(貝塚市職労)

パワワード

(解き方)二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

出題者：山本汎昭さん

1	2	3	4	5	6	7
8			9		10	
11			12	13		14
		15		16		
		17				18
19			20			21
22		23		24	25	
26				27		

ヒント：この風がふくと気温があがります

ヨコの力

- 斜め。棒を〇〇〇〇に組む
- 阿寒湖のものは特別天然記念物
- 彼も遂に〇〇が回ったか
- 三十一文字
- 運勢がこの上もなくよいこと
- 選挙の三バンのひとつ
- 斎藤節に登場する宮城県の寺
- 長野県西部 飛騨山脈南部の景勝地
- コシと喧嘩は江戸の華とか
- 3割3分3厘3〇〇
- リス科の動物で木から木へ滑空する
- M寸より大
- 入選まであと一歩。選外〇〇〇
- 預金が〇〇〇になったものの利息がこれだけじゃねえ
- 失敗。大した〇〇ではないよ
- トモも知らぬ遠き島より流れ寄る〇〇の美ひと
- 正月の縁起物として神社で出す矢
- 声の高いこと。大声。〇〇〇〇に話す
- 擦過傷を平たく言えば
- 牛馬の飼料とする乾草など。まへ
- 〇〇がネギをしよって来る
- 足が10本ある海の軟体動物
- 沈黙は〇〇、雄弁は銀
- 正月に神仏にそなえる餅
- 頼母子講とも言う
- 〇〇にかかると攻め立てる
- ひりひりつづきのあとの雨
- 〇〇パツクキス
- 鶏の胸の部分の上質肉
- 好機。〇〇〇〇到来!
- 首の後部。襟くび。〇〇〇〇をつかんで引っ立てる
- 事業を起ころうにも〇〇〇〇不足



新語 十番勝負

ステルスこたつはテーブルなのにこたつのような暖かさ、しかも太陽のようなボカボカ感。ステルスの発熱方法は光放射熱加熱方法(太陽熱と同じ)です。光が当たった瞬間から暖かさを感じることができ、身体の芯から温まることができます。スリムヒーターの採用により、消費電力は1時間8円程度です。取り外し可能でオールシーズン対応です。

新語 エスプーマ 十番勝負

世界の料理界で、あらゆる食材を泡状に加工する調理法「エスプーマ」が流行しています。専用の容器に食材を入れて、これにガスを混入すると、まるで石鹸の泡のような変わった食材ができ上がります。実は近年、料理界ではこのような新調理法が次々と誕生しています。そして、そのような調理法を取り入れる有名レストランも増えています。さらに言えば、「調理と科学の融合」という不思議なトレンドも進行中だということです。